



## JUNBA 理事会(第 166 回)議事要旨

日 時:令和4年9月22日(木)16:00-17:00

場 所:オンライン

出席者:

【理事】奈良先端科学技術大学院大学(三宅会長)、名古屋大学(神山副会長)、  
大阪大学(Scott 理事)、桜美林大学(丸山理事)、

【アドバイザー】サンフランシスコ総領事館(黒川領事)

【事務局】日本学術振興会(中別府事務局長、太田副センター長、安藤、遠藤)

【オブザーバー】名古屋大学(岡田)、大阪大学(東澤)、Institute of Quantum BioFrontiers(千田)、  
早稲田大学(眞谷)

### 1. 第 165 回 JUNBA 理事会議事要旨の承認について【資料 1】

議事に先立ち、資料 1 に基づき、第 165 回理事会議事要旨案を了承した。

### 2. 議題

#### (1) 令和 4 年度第 1 回 JUNBA 勉強会について【資料 2-1~2-7】

事務局から資料 2-1~2-7 に基づき、説明があった後、勉強会の運営関係者間で直前リマインド、リハーサル、通訳及び当日運営について確認された。

#### (2) 令和 4 年度第 2 回 JUNBA 勉強会について【資料 3-1~3-4】

事務局及び当番校の大阪大学から、資料 3-1~3-4 に基づき、説明があった後、勉強会のテーマ案及び講師について意見交換が行われた。

なお、テーマ案及び講師については、引き続き、次回理事会においても検討する旨、了承された。

### 主な意見

オハイオ州オーバリン大学においては、太陽光等を取り入れて、建物全体をサステナブル化する取り組みを行っているため、講演依頼先として検討してはどうか。

米国から発信するということを考慮すると、日本国内でより進んでいる SDGs という枠組みではなく、環境フレンドリーなキャンパスづくりという観点から、今後 20 年間でキャンパス全体のサステナブル化を進めているプリンストン大学等を講演依頼先として検討してはどうか。

スタンフォード大学において、9 月より、スクールオブサステナビリティという、気候変動と持続可能性に焦点を当てた大学院が設立され、米国内で話題になっていたが、設立にかかる背景や将来戦略等について、講演いただいてはどうか。

### 3. 報告事項

(1)各拠点からの令和4年度の活動報告について【資料4】

事務局から、資料4に基づき、報告があった。

その後、黒川領事から、資料4に基づき、在サンフランシスコ日本国総領事館からの共有事項について報告があった。

(2)その他

特になし。

#### 《配布資料》

【資料1】第165回 JUNBA 理事会議事要旨(案)

【資料2-1】令和4年度第1回 JUNBA 勉強会進行次第(案)(日)

【資料2-2】令和4年度第1回 JUNBA 勉強会進行次第(案)(英)

【資料2-3】令和4年度 JUNBA 勉強会担当別スケジュール(案)

【資料2-4】JUNBA 勉強会進行メモ

【資料2-5】JUNBA 勉強会会場用スライド

【資料2-6】ゲスト講演1 資料

【資料2-7】ゲスト講演2 資料

【資料3-1】令和4年度 JUNBA 勉強会テーマ(案)

【資料3-2】令和4年度 JUNBA 勉強会の実施にかかる検討事項

【資料3-3】講演候補者資料(Jolynn Shoemaker 氏)

【資料3-4】講演候補者資料(Camille Kirk 氏)

【資料4】2022年度 JUNBA 活動計画表

次回理事会の日程:令和4年10月27日(木)16時00分～(PDT)、28日(金)8時00分～(JST)